

## 第2回社会保障入門講座

# 「人権としての介護保障」を開催

第2回社会保障入門講座「権利としての介護保障」を、10月2日（日）午前10時から亀岡市総合福祉センターで開催し、32名の方が参加されました。第2回講座は、京都市北区にある社会福祉法人七野会理事長井上ひろみさんにお越しいただきました。

### 社会福祉法人七野会の基本理念

社会福祉法人七野会は、「西陣織の機音の聞こえるところで、安心して豊かな老後をおくりたい」との願いを集め、2100名を超える人々の支援で生まれました。現在、京都市と南丹市の13事業地で介護保険事業・高齢者福祉事業、障害福祉事業を実施しています。

七野会の基本理念では、①私たちは、住みなれた地域で尊厳をもって「その人らしく」暮らし続けることを支援します。②私たちは、全ての人の人権を尊重し、誰もが権利として福祉を享受できる社会をめざします。③私たちは、地域の皆さんの力によって設立され発展してきた歴史と伝統を大切にします。④私たちは、社会福祉法人であることを誇りとし、その使命と役割を果たします。⑤私たちは、働く職員の生活を守り、専門性を向上させるために努力しますと謳われています。七野会では、日々この理念を実現する実践がおこなわれています。

### 介護保障の本質を変えてしまった介護保険

講演では、行政措置から保険給付にかわってきた介護保障の歴史を踏まえ、以下のような現在の看護保険制度の問題点が述べられました。①保険料上昇、利用者負担増によって、お金がなければ必要なサービスが利用できない。②お金があっても、生活に必要でもサービスを制限される。③介護・福祉事業に「経営効率」が持ち込まれる。④職員の処遇・環境改善は進まず、専門性が軽視されている。これらの問題によって介護保険は使いづらい制度になってきていることを明らかにされました。

### 2024年介護保険・介護報酬改定の焦点

岸田自公政権がすすめる「全世代型社会保障」政策のもとに行われる2024年介護保険・介護報酬改定では、①介護サービス利用者負担を原則2割負担へ②ケアマネジメントに利用者負担を導入③要介護1,2の方へのサービスの介護給付外し④食費・室料など施設利用料の負担増⑤ICT・介護ロボット活用での「生産性の向上」「職員配置基準の緩和」などが狙われていると指摘し、介護保険制度を守る署名の重要性を述べられました。

### 「人権としての介護保障」の実現に向けて

講演の最後に、介護保険制度を「保険給付を受ける権利の保障」だけにせず、「健康で文化的な生活を送る権利の保障」へ転換させるために、①介護保険制度・介護報酬の改悪をやめさせ、制度を改善させる運動②憲法と老人福祉法に立ち返り「人権としての介護保障」に向かわせる運動③介護従事者を大幅に増やして育て、給与水準を引き上げさせる運動の強化を訴えられました。

### 第3回社会保障入門講座

## やさしい年金のはなし

講師:森脇芳男氏(年金者組合京都府本部書記長)

日時:2022年11月6日(日)午前10時

会場:ガレリアかめおか第1・2研修室

### 亀岡市社会保障推進協議会 2022年重点要求書を提出

9月21日、介護・医療分野4項目、生活保護・就学援助分野2項目、高齢者・障害者分野2項目、子ども・教育・文化分野4項目、環境・災害分野4項目、交通分野2項目、計18項目にわたる要求を亀岡市に提出しました。